

ご感想、情報は・Eメール life@sankai.co.jp  
・FAX 03-3270-2424

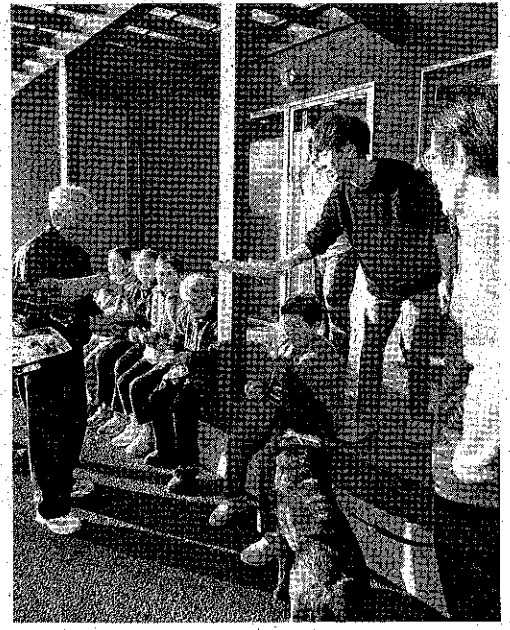
# Life 社会保障

## 「農業と介護の連携を学びたい」

介護の仕事をより魅力的に伝えるためのプロジェクト「これからの介護・福祉の仕事を考える」が、東北地方の会場でも順調に進んでいる。参加者は、農業と福祉が連携するNPO法人(特定非営利活動法人)「里・つむぎ八幡平」(岩手県八幡平市、高橋和人理事長)でインターン(職場体験)を行った。

### 東北地方会場でも 職場体験スクール

「おはあちゃんたちは障害のある人を気にかける。障害のある人は、自分たちも仕事ができる」と分り、役に立ちたいと思う。目に見えない相乗効果がある」という。ここでは当初から、両者が一緒に暮らす「共生型グループホーム」など「境目」のない事業を目指してきた。人口が減る地域で高齢と障害を厳密に区分すると、将来性がないと判断したからだ。



複数の事業所の利用者が集まって縁側でおやつ(時間)を過ごす。岩手県八幡平市の特定非営利活動法人「里・つむぎ八幡平」

### 介護と福祉の これから

人口減少と高齢化が進む大都市では、これまで制度上区分されてきた高齢者福祉と障害者福祉のサービスを一体的に提供する機運が高まっている。農林水産業などの衰退を背景に、介護や福祉が農業と連携する「農福連携」や「半農半介護」の取り組みも注目される。最前線を訪ねた。

#### 「境目」ない事業

「里・つむぎ八幡平」が運営する「まるごとケアの家」では、認知症の高齢者と障害者が一緒に日中を過ごす。この日は昼食後、障害のある女性が食器を運んだり洗ったりするかわら、認知症の高齢女性が茶碗を拭き始めた。

#### 農業で生き生き

今は農業との連携も模索する。市の高齢化率は約38%で、施設周辺には空き家や耕作放棄地が目立つ。

#### 「土地を活用し、ちよっとスやビーマンを作る。事業元気な高齢者と障害のある人が一緒に働き、いずれ賃金を得られる」といふと、農業を行う法人を立ち上げた。水田ではコメ、畑ではニンニクやズッキーニ、ナ

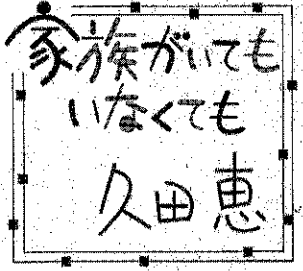
#### 若者を呼び込む

高橋さんも、介護される人がサービスを受けるだけでなく、できる範囲で生産活動にも携わる。半農半介護を目指す。

## 高齢と障害の「まるごとケア」

## 「半農半介護」で地域再生模索

目が覚めると部屋の空気がひんやりと冷たい。「いい、冬が来た」との思いで、急ぎベッドから出て、ストーブの点火スイッチを押した。待つこと数分。ストーブの窓から、不意にオレンジの炎が立ち上がった。火の粉が舞い始めた。その盛大な炎が一瞬たしろういたものの、炎が次第に落ちていくと、私



▶ 569



イラスト・ヨツモトユキ

## ストーブ愛で冬を待つ

も落ち着き、なんとも言えない幸せな心持ちになった。実は、私の小さな家にはペレットストーブが設置されているのだ。

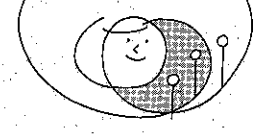
近、注目を浴びているもので、前の住人の置き土産なのだ。それがイタリア製の高級品だと教えられたり、「結構、手入れが大変よ。あなたにできるかなあ」なんてからかわれたりしたせいもあり、「よし、どんなストーブにチャレンジする」と

決めていたのだ。コミュニティの住人で燃料を一括で安く購入してくれる方もいるし、ストーブの使い方やメンテナンスを、詳しく伝授してもらった。

「掃除道具を入れておく箱もあるといいね」と丁寧に教えてくれたのは、同じコミュニティに住む夫婦のご夫君。彼が毎朝、ストーブ

の掃除をするのを見て、彼らの家には、なんと外の気温を常にチェックできるセンサーや、室内温度計も備えてあった。その完璧とも言える「ストーブ愛」に感動した私としては、自分の家に戻って、即刻メモ通りに手順を復習し、来るべき冬に備えて、怠りなき準備をしたかったのだ。

## ゆうゆうLife



を「取らない」と「そぞろ刈り入れた」と、つい口が出る。天気が良い日は畑に出かけ、気が向けば夕食用の収穫も。認知症で要介護2の女性(87)は「ニンニク畑の土のおいが懐かしかった。もう作業は無理だが、おいしいお米をいただいたいます」という。

地方都市では農林水産業が衰退し、地域経済で医療や介護事業の比重が増している。だが、その構造では地域経済の活性化は望めない。経済をうまく循環させる「農福連携」の取り組みが注目される。

## 東日本大震災被災地の子どもたち 来月1日にコンサート

東日本大震災の被災地で子供たちにバイオリンなどを無償貸与し、音楽を通して支援してきた一般社団法人「エル・シ

ステマジャパン」が、その子供たちによるコンサートを12月1日午後3時から、東京都豊島区の東京芸術劇場コンサートホールで開く。

「東京ホワイトハンドコーラス」も共演。視覚や聴覚に障害のある子供たちが、白い手袋をはめた手による「手歌

特集 おひとりさまの 安心終活術 終読 ソナエ 秋号 ¥840+税